

市議団ニュース

連絡先 2021年 2月14日号
 杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058
 石田利春 52-7260 平間益美 23-9519
 【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85-3】
 「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です



「ごみ問題を考える久喜市民の会」が
 議会に請願書を届けました！

事務局長に請願書を手渡す船橋さん、篠崎さん

久喜市のワクチン接種

計画の概略が判明！

請願に対する賛同署名は
4274筆に！（2/8現在）

新型コロナワクチン接種の流れ *ワクチン接種は無料です。

- ① 市から「接種券」が対象者あてに郵送されます。
- ② コールセンターに電話又はWeb予約システムで予約します
- ③ 「接種券」と本人確認書類（保険証等）を持参し1回目のワクチン接種を行います。
- ④ 接種後2回目の接種予約をします
- ⑤ 1回目の接種と同様に2回目のワクチン接種を行います。

新型コロナワクチン対策課 0480-22-1111

2月1日より業務が始まっています。まだ確定していないことがたくさんありますが、副反応などワクチン接種に関する相談は何でも受け付けます。

2月議会の日程です

2月8日	(月)	議案の上程
2月21日	(日)	代表質問 杉野議員
2月22日	(月)	一般質問 平間議員 ③番目
2月24日	(水)	一般質問 石田議員 ②番目
2月26日	(金)	一般質問 渡辺議員①杉野議員④
3月1日	(月)	一般質問 最終日
3月3日	(水)	議案質疑
3月5日	(金)	総務財政市民常任委員会・分科会
3月8日	(月)	福祉健康常任委員会・分科会
3月9日	(火)	建設上下水道常任委員会・分科会
3月10日	(水)	教育環境常任委員会・分科会
3月17日	(水)	最終日 討論・採決

「接種の優先順位は？」

- ①医療従事者の方等
- ②高齢者の方(令和3年度中に65歳以上に達する人)
- ③基礎疾患のある人・高齢者施設等で従事している人

久喜市ワクチン接種イメージ

※埼玉県が令和3年1月8日に開催した説明会の資料を基に作成(令和3年1月27日現在)

資料1

メーカー	実施主体	接種会場	3月	4月	5月	6~8月
ファイザー	都道府県	医療従事者等に対応する病院(1病院)	医療従事者等(4,580人)			
	市町村	<個別接種> 医療機関 ※医師会と調整中 <集団接種> 毎日興業アリーナ久喜等 久喜市総合体育館	O65歳以上の接種券の発送時期 3月中旬~下旬 市内5箇所程度を検討中 1日500人程度を予定	65歳以上の高齢者(46,820人) 基礎疾患を有する者(5,200人) 高齢者施設の従事者(2,300人) 一般の方(2,100人)		
アストラゼネカ	市町村	<個別接種> 診療所を想定	一般の方(61,000人)			
武田/モデルナ	市町村	<個別接種> 診療所を想定	一般の方(30,500人)			

※令和3年1月現在の本市の住民基本台帳に記録されている市民152,506人で想定。約305,000回の接種が必要。

コロナ感染者拡大抑え込みを最優先課題とせよ！

渡辺まさよ

久喜市所久喜705-3

2月26日(金) 1番目



1 久喜市立中央幼稚園を集約してなくすことは止めるべき

現在進められている公共施設個別施設計画では、中央幼稚園の園児募集を2022年に止めて、2025年には栗橋幼稚園に集約して除去する計画がされている。待機児童が増える中なぜ、公立の幼稚園をなくすのか疑問である。中央幼稚園がこれまで果たしてきた役割・良さ・意義を無くしてはならない。

2 久喜駅西口の喫煙所は撤去をすべき

西口の喫煙所は大変狭く衝立になっている横壁のみで、近くを通行すれば受動喫煙状態である。コロナ感染防止にもなっていない。撤去をすべきだ。

3 県道川越栗橋線(12号線)の渋滞改善をすべき

12号線の渋滞解消は長期間要望を続けている。生活道路への進入も多く近隣住民は困っている。信号の設置、さくら通りの橋の設置もすべき。

4 自殺者を無くすための手立てにしっかり取り組んでほしい

令和3年に入り親子心中という悲しい事件が起きてしまった。日本共産党市議団は昨年末「年始年末で市が休日体制でも市民の命と暮らしを守る相談体制を取っていただきたい。」と要求した。どうだったのか。1月の市広報は役割がされていなかったと考えるが。しっかりと改善すべき。

5 ごみ処理施設整備基本計画について

計画案の基本方針には「搬入された廃棄物は可能な限り資源化を図る」とあるが、久喜市の今後の計画は資源化できていたプラスチックごみの資源化を燃やす計画である。可能なもので資源化できていたものを止めてはならない。

杉野おさむ

久喜市桜田3丁目7-1-504

2月26日(金) 4番目



1 公共施設の将来像は行政サービス向上と住民自治充実を

個別施設計画案が出されたが、サービスの低下になる恐れがある。案では鷺宮総合支所は「機能廃止」に、各保健センターは市役所のセンターに「集約」、鷺宮の温水プールや福祉センターは「除却」とされている。少子化や施設の老朽化、財政難などの課題をことさら強調し、机上の費用計算を根拠にして安易な「統廃合」は「子育て世代の流出」や「地域の衰退」につながる。

2 保健所機能の再編強化を

この間の感染防止対策を取り進む中で、保健所の削減が進む中で体制が弱まり「陽性者の健康確認や相談対応、入院先の調整」などの本来業務が困難になっているとの報道がある。幸手保健所では、職員はどんな実態で奮闘しているのかと市民は心配している。体制強化に向けて、廃止した保健所の「久喜分室」復活も県と協議検討をすべきではないか。

3 新型コロナ感染抑え込みを市の最優先課題に

コロナを抑え込むためには、まずは「陽性者を早期発見すること」である。私たちはこのことを1年前から提案している。感染症対策の基本は「発見したら入院・保護をする」ことだ。なのに「自宅療養や、宿泊療養」の方が存在する。その方々にパルスオキシメーターは行き渡っているか。近隣市町村や県と協力して緊急にプレハブ病棟を設置してはどうか。前東鷺宮病院も、軽症・中等症者の施設として検討してはどうか。積極的支援も必要だ。

コロナ対策と市民のくらし改善最優先に！

平間ますみ

久喜市本町8-4-1

2月22日(月) 3番目



1 住宅リフォーム助成制度について

11月議会で住宅リフォーム助成制度の創設を求めました。答弁の中で、「平成28年の熊本地震で平成12年5月31日以前に建築された建物で被害があったものについては79.6%、大破、倒壊については18.4%と大きな被害が発生している状況であり、補助対象の拡充について現在検討しているところである」との発言がありました。見直しの内容について質問します。

2 小中学校大規模改造基本方針におけるトイレ洋式化について

昨年6月に小学校・中学校の大規模改造を必要とする優先順位が示されました。しかし、具体的計画が示されていません。今後3か年のトイレ洋式化について、取り組みが予定されている小学校、中学校と、工事内容について伺います。

3 国保税均等割無料化について

厚労省は次期医療制度改革の概要をまとめ、2月上旬に関連法案を国会に提出する方針であるという事が報道されています。概要の中では子どもの均等割保険税を軽減する内容が盛り込まれています。内容は子育て世代の経済的負担軽減の観点から未就学児の均等割を一律5割削減するというものです。国2分の1、都道府県4分の1、市町村4分の1の負担割合となっています。しかし、半分は納付しなければなりません。この保険税も市が負担し、基本的に未就学児の均等割りはゼロにすることを求め質問します。

石田としはる

久喜市栗橋東5-7-21

2月24日(水) 2番目



1 済生会栗橋病院から秋谷病院への円滑な医療継続を

済生会栗橋病院が移転後、秋谷病院が開院することは久喜市民の命と健康を守る上で大きな前進です。今回の合意が円滑に進むことを願い、久喜市の更なる支援を求めて質問します。

2 大規模水害対策、広域避難の構築に向けた取り組みを求める

国は、大水害の際、住民の避難「大規模広域避難」の円滑化に向け、財政支援する災害救助法の改正案を国会に提出します。久喜市の具体的取り組みを求めます。

3 公共施設の個別施設計画。栗橋の市民プラザ新設計画は

今後35年間を第1期～4期に分け、直近の9年間については具体的施設について示しています。栗橋地区に、新たに建設する「市民プラザ」について伺います。

4 緊急事態宣言が再発令 水道使用料基本料金の免除を

市民の多くは「巣ごもり」状態です。市民の生活に寄り添い、再度基本料金の全額免除を求めます。財源はあります。

5 生活保護は国民の権利ためらわず申請ができる久喜市に

コロナ禍は自助努力の範疇をこえ社会的な危機。生活保護の申請をためらわずに出来るよう「扶養照会」の中止を求めます。

6 デマンド交通・循環バス利用料の値上げは中止を

民間事業者とも連携し、利便性を向上させる施策こそ求められます。公共交通の充実を求めて質問します。